

令和 6 年 11 月 18 日

## 令和 6 年度スポーツ振興くじ(toto)助成事業

### 実施結果報告

独立行政法人日本スポーツ振興センターは、スポーツ振興くじ(toto)の収益を財源として、地方公共団体やスポーツ団体が行うスポーツ活動等に対して助成を実施しています。一般社団法人アクション・スポーツ推進委員会では、独立行政法人日本スポーツ振興センターからスポーツ振興くじ(toto)助成金をいただき、令和 6 年 10 月 18 日(金)～20 日(日)「第 7 回全国ボルダリング小学生競技大会- JAPAN YOUTH BOULDERING 2024 -」を開催いたしました。



大会現場写真

令和6年度 事業報告書

1/2

【スポーツ団体スポーツ活動助成】

助成事業細目	スポーツ活動推進事業						
	スポーツ教室、スポーツ大会等の開催（スポーツ）						
助成事業者名	一般社団法人アクション・スポーツ推進委員会						
事業名	第7回全国ボルダリング小学生競技大会-JAPAN YOUTH BOULDERING2024-						
事業の成果 （事業計画書に記載した 「目的及び期待される効果」を踏ま えて記入すること）	パリ2024五輪では、第1回大会の優勝者である安楽宙斗選手が銀メダルを獲得し、大きな成功を収めた。第7回となる今大会にも、第2の安楽選手を目指す小学生クライマーたちが全国各地から集結した。昨年は9月に開催したが、気候を考慮して今年は10月に開催月を変更した結果、観戦しやすい気候となり、多くの参加者や観戦客が訪れた。運営方法を見直して応募枠を増やしたことで、より多くの選手に参加の機会を提供できたことは今回の大きな成果である。また、パラクライミング体験やポッチャ体験ブースを設置することで、クライミング以外のスポーツにも触れる機会を創出し、スポーツの価値を高める良いきっかけとなった。						
事業に対する評価	新しい試みであるパラ体験会の実施等により大幅な支出増が見込まれたが、参加収入の増加により無事に大会運営を実施できた。今大会から新しいエントリーシステムに移行したことで、選手および保護者から「わかりにくい」という意見があったため、改善が必要である。また周知のタイミングが遅れたことも改善していきたい。パラクライミング体験やポッチャ体験は、非常に好意的な意見をいただき、スポーツの新たな魅力を発見する機会を提供できたと感じている。今大会に参加した選手や保護者の中には、感極まって涙する方々も多く見られ、スタッフも同様に感動して涙を流す場面があった。このような感動的な大会を実施できたことを非常に嬉しく思っている。						
実施した事業の内容	開催期間・開催日	令和 6 年 10 月 18 日 ~ 令和 6 年 10 月 20 日					
	主催者	一般社団法人アクション・スポーツ推進委員会					
	共催者						
	開催場所	葛飾区東金町運動場スポーツクライミングセンター（東京都葛飾区東金町8-31-1）					
	募集方法	ホームページにより開催要項を周知し募集					
	参加対象者	小学3～4年生男女 140名（募集人数 男子：70名 女子：70名）、小学5～6年生男女 140名（募集人数 男子：70名 女子：70名）					
	参加者数 スタッフ数	開催期間内の 事業実施回数	1 回				
		平均参加者数 （スタッフ・観覧者を除く）	247 人	総参加人数	247	人	
		世代 性別	①0～19歳	②20～39歳	③40～59歳	④60歳～	合計
			男性	127	17	15	2
		女性	120	10	3	0	133
		計	247	27	18	2	294
		うち地域住民の参加人数（開催地に 住む方）	60 人	地域住民参加割合	24.3	%	
うち障がい者参加人数		0 人	障がい者参加割合	0.0	%		
実施日における運営スタッフ（請 負業者を除く）平均参加人数	15 人	参加者に対する 運営スタッフの割合	6.1	%			
緊急体制	<input type="checkbox"/> 医師が待機 <input checked="" type="checkbox"/> 看護師が待機 <input checked="" type="checkbox"/> 会場にAEDを設置 <input type="checkbox"/> 該当なし						
くじ助成金以外の収入増加 に向けた取組み	<input checked="" type="checkbox"/> 行った <input type="checkbox"/> 行わなかった	取組内容	参加枠を昨年から10名増加し、参加料収入を増やした。エントリー方法をアナログによる管理からシステムを導入し、エントリーの容易さにつなげて参加者数の増加につなげた。				

令和6年度 事業報告書

2/2

【スポーツ団体スポーツ活動助成】

助成事業細目		スポーツ活動推進事業	
		スポーツ教室、スポーツ大会等の開催（スポーツ）	
助成事業者名		一般社団法人アクション・スポーツ推進委員会	
事業名		第7回全国ボルダリング小学生競技大会-JAPAN YOUTH BOULDERING2024-	
情報公開	事業実施計画の公表	事業を広報・PRするための手段 (複数選択可)	<input checked="" type="checkbox"/> HPで参加者募集を告知した <input type="checkbox"/> 広報誌・会報誌等で参加者募集を告知した <input type="checkbox"/> 広くチラシを配布した <input type="checkbox"/> 特定の個人・団体へ声をかけ、参加を呼びかけた <input checked="" type="checkbox"/> その他（クライミング専門Web媒体、SNS）※具体的な手段を記載してください。 ※上記いずれかの広報・PRを行う必要があります。
	事業の実施状況及び実施結果並びに助成金の使途に関する情報の公開	情報の公開方法 (複数選択可)	<input checked="" type="checkbox"/> HPで公開 <input type="checkbox"/> 広報誌・会報誌等で公開 <input type="checkbox"/> 事務所等に備え、自由に閲覧できる環境を整備 <input type="checkbox"/> 情報開示請求があった場合に開示 <input type="checkbox"/> その他（ ）※具体的な公開手段を記載してください。 ※上記いずれかの公開が必要です。
		公表した内容 (複数選択可)	<input type="checkbox"/> 事業の実施状況(助成金の交付を受けている旨を記載し、事業の進捗、途中経過を公開) <input checked="" type="checkbox"/> 事業の実施結果(助成金の交付を受けた旨を記載し、事業の完了報告を公開) <input type="checkbox"/> 助成金の使途に関する情報(助成金額(交付決定額)及び何に使用したのかを公開) ※上記いずれかの公表が必要です。
事業実施後に参加者等に対する満足度調査を行ったか		<input checked="" type="checkbox"/> 行った <input type="checkbox"/> 行わなかった	実施方法 Webによるアンケートを実施
備考			